

出雲市スポーツ推進委員だより

題字：板垣謙二委員（出雲支部）

第15号（令和元年10月）



学んだことを活かしましょう

出雲市スポーツ推進委員協議会
会長 久家 彰



元号が令和に変わり、新しい時代がスタートしました。私達推進委員も任期満了に当たり多少の入れ替えはありましたが、多くの方々に継続してもらうことになり大変喜んでいきます。

東京オリンピック・パラリンピック開催まで約300日となり、早くも一部では選手が決まるなどスポーツ熱は次第に高まってきています。

私達は、この環境の中でスポーツに対する関心をより高め、スポーツを「する・みる・支える」きっかけづくりになるような活動を、関係団体と連携・協力していかなければならないと考えています。

さて、昨秋より準備を進めてきました出雲地区担当の「いつでも・どこでも・だれでも楽しめるレクリエーション活動」をコンセプトとした県の研修会が、県内各地から多くの推進委員の参加を得て盛会に無事終了することが出来ました。

基調講演では、岩崎巖氏のトークとハーモニカ演奏で、会場は大いに盛り上がりました。スポーツの楽しさや魅力を伝えるのは、“すべての人との出逢い”である。スポーツを通して出逢った方々から、スポーツの楽しさや勇気をもたらしたから今がある。その“縁”を今も大切に障がいや苦しみを前向きに努力される姿に感銘を受けました。皆さんも推進委員としてスポーツの楽しさ・魅力を地域の多くの人々に伝えてほしいと思います。

また、実技研修では各支部・事業部に提案していただいたルールや用具の工夫・アレンジにより多くの人が楽しめる提案性のある競技種目や、リーダー・サブリーダーを中心にチームワーク良く活動していただき「成功させよう」という情熱と責任感が力となって現れた結果だと感謝しています。

この研修会を通して皆さんも多くの事を学ばれたと思います。高齢化が進む現代社会において、状況は常に変化します。そのことを理解し、正しい情報・知識を学び、今後活かしましょう。

第58回 島根県スポーツ推進委員研修会

日 時：8月24日（土）～25日（日）

場 所：1日目 ビッグハート出雲（白のホール）、島根ワイナリー

2日目 雲南市三刀屋文化体育館アスパル

参加人数：1日目 全体会 176名（うち当協議会 42名）

情報交換会 115名（うち当協議会 28名）

2日目 実技研修会 164名（うち当協議会 36名）

開会行事・表彰式・講演

第1回の実行委員会が昨年11月9日にあった。担当は式典部に決定した。何をどうしたら良いのか分からず当分の間しょぼんとしていた。その後、看板や張り紙など事務関係は事務局や総務部で用意してもらえこととなり安心した。しかし、研修会が近づくにつれて少し焦りも出たが準備は無事にできた。リハーサルに入り、細かい位置づけなど最終チェックをして大会を迎える準備ができた。

そして基調講演になるとタイトルにある出逢いの大切さと大学駅伝誕生までの秘話が特に印象に残った。時折入るハーモニカ演奏では、皆さんうっとり聞き入っていた。食後の講演会となると睡魔と格闘する時間帯であるが、会場を何回か見回すと誰一人目を閉じている人はいなかった。片づけは、全員であつという間に終わり皆さんの協力に感謝申し上げたい。
(式典進行部リーダー 出雲支部 土江 孝夫)

女性委員会では情報交換会の余興と実技研修のウォームアップを担当した。情報交換会では、ひげダンスのパフォーマンスを取り入れたゲームを行った。予想以上に盛り上がり皆さんに楽しい時間を過ごして頂けたと思う。おもてなしの気持ちはもちろんだが、まず自分たちが楽しもうという気持ちが大切だと感じた。

実技研修では、NHKで放映されている「パプリカ」のダンスを誰でもすぐ踊れるよう優しい振付けにアレンジしウォームアップとして行った。この曲は「2020年とその先の未来に向かって頑張っているすべての人に贈る応援ソング」として作られ、世代を問わず楽しめる曲だと思った。研修会当日に備え5月下旬から練習会を

6 回行った。当日、個人的には説明不足等反省点もあるが、皆さんの動きがとてもきれいに揃っていて、歌詞どおり心弾むように楽しく身体を動かしていただいていることがうかがえた。

この二つの役割を務めたことにより、女性委員会メンバー（幹事）の結束力がより強まった気がした。

（女性部リーダー 平田支部 金折ゆき子）

■他の会と重なり打ち合わせ 2 回の中、1 回だけ参加した。でも、教育事務所や出雲地区の事務局からお便りを頂き、当日の駐車場や時間ごとの動きがよく分かった。また、式典部のリーダー土江さんから電話をいただき自分の仕事がよく分かった。ビックハートでの全体会は滞りなくできたと思う。（平田支部 S・Y）

■その時々のお出逢いとエピソード、その時の気持ちにあったハーモニカ演奏。アスリートとの不思議な縁や出雲駅伝の苦労話など、最後まで飽きない講演会であった。（出雲支部 S・Y）

■都合により初日だけだったが初めて参加させていただいた。研修会の概要が理解でき、また式典や講演も盛会で良かったと思う。表彰された方が多く、特に永きに渡り活動されている方に感心した。（出雲支部 N・J）

■基調講演は陸上を通して今日までの「お出逢い、繋がり、感動、感謝」についての解説を軽妙なトーク、ハーモニカの演奏、映像を用いてで理解しやすかった。（出雲支部 N・A）

■式典部の運営スタッフとして初日の参加となった。出雲地区の運営ということもあり、なるべく協力をお願いしていたが打ち合わせに参加できず、当日の打ち合わせとなった。しかし、皆さんの協力でスムーズに式典の準備もできた。講演会では楽しいハーモニカとお出逢いに感謝の話で、お出逢い・繋がりとは人生の中で大切な宝と感じた。（多伎支部 T・E）

■岩崎氏のお出逢いに感謝のテーマで、すばらしいハーモニカ演奏に合わせて講演を聞かせていただいた。私にもたくさんの方とのお出逢いがあったと。推進委員の方々とのお出逢いもひとつだなと思った。（大社支部 T・H）

■今回の研修会は私にとって特別なものになった。思いもよらぬ表彰、また代表謝辞、何から何まで格別だった。あれこれ言わねばならぬと思いつつも言いつくせぬものだった。式典を終え、講演で聞いた岩崎氏のハーモニカの音色がとても胸にしみ感動した。今大会のためにご尽力頂いた各支部のスポーツ推進委員の皆様へ感謝を申し上げます、実りある 2 日間の体験をさせて頂いた関係者の皆様へ御礼申し上げます。（大社支部 I・T）

■岩崎氏の出雲駅伝開催までのお話は、とても興味深く聞かせていただいた。今後出雲駅伝の時には、今回のお話を思い出しながら楽しんで観戦したいと思う。（佐田支部 F・M）

■1 日目のみ参加させていただいた。講演「わくわく、どきどき、心地よく、お出逢いに感謝」本当に演題どおりに岩崎氏が人生を歩まれている中でとても素晴らしいお出逢いが数多くあったと本当にびっくりした。岩崎氏の前向きな熱心な活動と人柄の素晴らしさ、多くの方々から信頼されることに感動した。そして、ハーモニカを初めて聞かせてもらった。（斐川支部 H・M）

■朝 8 時 30 分に集合し、説明を聞き、その後全員で会場準備をした。人数が多いからわずかな時間で準備も終わり、開会まで 2 時間以上の待ち時間。もう少し時間の割り振りを考えてもらえたらと思った。（斐川支部 N・K）

県大会の表彰者は以下の通りです。受賞おめでとうございます。

●県功労者表彰

石田 正委員（大社）、中島和吉委員（斐川）、田中宏子委員（湖陵）、南木康広委員（平田）



情報交換会・懇親会

情報交換会スタッフとして早めにワイナリー会場に出向く。各自が配置場所にスタンバイし、各市町村の推進委員を迎え席に案内した。

午後6時30分より始まった2時間という短い時間での話やゲームで和やかな時間が流れた。私も写真を撮りながら「今日の交歓会はどうですか？」などと聞くと「非常に満足」「最高にいいよ」と答えてくれた。何が良かったのかと言えば「やっぱり焼肉でしょ！」それと司会進行やゲームの運営にあたった女性委員の皆さんに感謝の一言である。
(情報交換部サブリーダー 斐川支部 久野晴見)

■情報交換会、たくさんの方が参加され、楽しく意見の交換をし、沢山学ぶ所があった。(大社支部 T・H)

■女性陣の工夫により、とても楽しい情報交換会だった。各テーブルでも盛り上がり、名刺交換もした。他の地区から「ワイナリーのような場所があるといいなあ」「食べ物や飲み物がたくさんあって良かった」と言ってもらえた。
(平田支部 S・Y)

■ワイナリーでのバーベキュー。乾杯の島根ワイン。地元産の物を味わってもらえて良かった。4人で1つのテーブルを囲みつつ、初めて会った方々と話はずみ、自然体でとても居心地の良い時間だった。スポーツ推進委員の皆さんのコミュニケーション力、優しさに感激。
(平田支部 Y・Y)



実技研修

実技研修部として実技種目は9種目を実施することが決まり、これらの種目は地域で考えアレンジされたものである。

私はスピードラダーゲッターの種目を担当した。中には27秒ですべてのラダーに掛かったチームやなかなか掛からず時間オーバーしたチームもあり、短い時間だったが、皆さんには楽しく体験してもらったと思う。今回の研修会では、多くの種目を体験してもらい良かったと思っている。
(実技研修部 平田支部 梶谷治吉)

■個人種目を団体種目としてアレンジしてあり楽しみ方が広がって良い。(斐川支部 O・K)

■スピードラダーゲッターの担当をした。チームワークよく実技指導でき、短い時間での体験だったが、皆さん充分に楽しさが伝わったと思う。体験会が始まる前に全部の種目を体験したが、簡単に準備できるものが多く、いつでもどこでもできるのがいいなと思った。
(佐田支部 N・Y)

■実技研修は受講だけでなく実技指導を担当した。担当したC・Cリングは子ども向けの種目だと先入観を持っていたが、大人だけで行っても真剣にリングを投げたり、カードをめくるときに盛り上がっていたのを見て、幅広い年齢層でできると思った。どの種目も楽しみながらできるものだったので、これからの活動に活かしたい。
(大社支部 I・N)

■ワンバウンドふらばーボールバレーの担当だった。10人位のグループで回り、2チームに分かれて短い説明をしたのち体験してもらった。他の種目と違い「ハードであったが面白い」とハアハア言いながらされていた。しかし、年配の方、ひざの悪い方には不向きなスポーツかと思う。
(平田支部 F・M)

■以前に体験した時よりボールが小さかった。対象者の年齢に応じて使い分けでも良いと思った。
(斐川支部 O・K)

■ワンバウンドふらばーボールバレーを担当。不規則に弾むボールに笑いが絶えなかったがだんだん真剣に…？推進委員の皆さんの運動能力の高さ(60代、70代でも)に感服。また他の種目もすぐに使える手作り感たっぷりの物だった。スタッフの手際の良さにも感心。良い出逢いがあり、実り多い研修だった。土曜日は仕事があり、出にくいのだが、これから石見部での県大会、中国大会、行ったことのない全国大会にも参加してみたいと思う。
(平田支部 Y・Y)

■実技研修に参加した。アレンジ種目を全部研修させていただいた中でターゲットボール、カローリング☆シュートは楽しく、ケンケンケンパーは足が思うように動かず、楽しく活動できたと思う。どれも参考になった。
(斐川支部 I・Y)

■三刀屋で行われた研修会に参加した。短い時間ではあったが、8種目の競技を体験し、子どもからお年寄りまで楽しめるスポーツだと改めて感じる事ができた。
(佐田支部 T・H)

■ニュースポーツは手作りの用具と現スポーツ用品との融合が上手に工夫されており、笑いを交えながら終始楽しくできた。今後の活動に活かしていきたいと思った。
(出雲支部 K・K)

■実技体験は9競技の体験会だったが、どの競技も大変楽しく体験できた。特にスポーツ吹矢とターゲットボール、カローリング☆シュート、C・Cリングはとても楽しかった。この4競技は体力的というよりも頭脳、チーム作戦で行う競技だった。これは子どもから高齢者まで幅広く行えるスポーツでとても良い競技だと思った。ターゲットボール、カローリング☆シュートは比較的に用意しやすい用具でできるのでとても良かったと思う。今後も今回の競技を一般の人達にも体験して頂けるように活動したいと思う。(佐田支部 K・T)

■とても楽しい実技研修だった。どこの地区も手に入りやすい道具で、また現在使っている道具で様々なアレンジがしてあり感心した。パイプライン、カローリング☆シュート、バケットビンゴ、スピード・ラダーゲッターが楽しかった。同じグループで回っていると結束が生まれ、最後には「来年、ぜひ会いましょう」と約束を交わすほどになった。たくさんの人と仲良くなり、応援したり、大笑いして、素晴らしい研修会になった。(平田支部 S・Y)

■9種類のアレンジ種目で研修をした。全種目を体験し、身近な所で誰でもできると思った。2日間で学んだこと、これからの活動に活かしたいと思う。(大社支部 T・H)

■実技研修は今後「人生100年を見越し」「いつでも・どこでも・誰でも」気軽に取り組めるもので今後の活動の参考になった。(出雲支部 N・A)

■どれも費用が安く抑えられていて参考にできそうなものばかりであった。(出雲支部 S・Y)

■地域のスポーツ振興に熱意を注がれる先輩推進委員の皆さんの姿に強く感動した。実技研修では、多くのニュースポーツに触れることができた。「いつでも、どこでも、誰でも」できるニュースポーツを、地域活動に活用し、人として「わくわく、ときどき、心地よく、出逢いに感謝」の気持ちでいつまでも健康な生活が送れるように、地域に貢献したいと思う。(多伎支部 M・H)

■各地区のニュースポーツが体験でき、またアレンジの仕方など実際に教えてもらうことができたので、すごく有意義な時間が過ごせて良かった。今後自分の地区でも取り入れてやってみたい。(大社支部 M・S)



全体

前回開催時と同様、総務の業務を行った。参加者受付や来賓対応等は、委員の協力のもと円滑に行うことができ、研修会の運営を滞りなく行うことができた。

反省点として、物品手配(併催の県協議会理事会を含む)の担当者や役割分担を明確にしたうえで、最終確認をしておくべき点があったので、次回開催時の改善点としたい。(総務部リーダー 湖陵支部 立花順心)

■講演会、懇親会、実技研修を通じて様々な人と意見、情報交換ができ、知識・情報の共有化が図れた。また、同じような課題をあげる地区が多く、その解決方法を共に学ぶ場として大変有意義な研修会だった。2日間で学んだことを今後の活動に活かしていきたい。(大社支部 K・K)

■多種多様な種目があり、大変参考になった。子ども達から高齢者まで、どの年代にもアレンジができることも利点に思った。今後の活動にも活かしていきたい。(湖陵支部 H・K)

■研修会は実に有意義だった。講演内容も岩崎氏の「出逢いに感謝」は我々推進委員をしている立場からも参考になった。静と動(音楽とスポーツ)ができる人…これこそが一流のアスリートだと思った。今後も楽しんで参加していただけるスポーツの推進活動をしていきたい。(出雲支部 I・K)

■慣れない中で、皆さんと協力しながら楽しく準備をすることができた。また、講演も大変良かった。情報交換会でも他の地区の方々と交流ができた。(出雲支部 Y・H)

■基調講演とても良かった。情報交換会の開始時間はもう少し早くても良かったかなと思った。午前中から出ているスタッフも早く集まったのに仕事がすぐ終わり、待ち時間がたくさんあったと聞いた。余裕は必要だが取り過ぎの感があった。実技内容は身近にあるもの、アレンジしたりしてすぐできそうなものばかりで、とても良かった。各市町村で出し合うのも良い案だと思った。
(平田支部 Y・T)

■岩崎氏のハーモニカは心にしみる演奏だった。ワイナリーの情報交換会は同じテーブルの人と地域の実情をじっくり話し合うことができた。実技研修もすぐに地域に紹介できるものばかりで、すべてにおいてとても充実した研修会となった。一番印象に残ったのは女性委員の「パプリカ」での準備運動である。楽しかった。
(斐川支部 A・A)

■暑い中での担当であったが事故なく安全に案内ができて良かった。待ち時間が長かったので集合時間がもう少し遅くても良かったのでは。全体を通してたくさんの人と交流ができ有意義な時間を過ごすことができた。今後の活動に活かしたい。
(平田支部 N・K)

ニュースポーツPR事業

日 時：4月27日（土）
場 所：出雲ドーム
（出雲ドーム de スポーツ&健康フェスティバル2019にコーナー出展）
参加人数：487名

スタンプラリー形式でニュースポーツを体験してもらうコーナーを設置し、子どもから高齢者まで幅広い年代の方が来場された。

事業部の企画により5種目を実施し、当協議会の活動とニュースポーツのPRを行った。

(①スポーツチャンバラ、②フロート、③ネットパスラリー、④玉入れ、⑤ラダーゲッター)

また、4月から新たに委嘱を受けられた新任委員の方もスタッフとして運営に携われ、委員同士・各支部間の情報交換の場となった。
記：高橋 詠委員（多伎支部）



※イラストは、(公財)日本レクリエーション協会のホームページから引用しています。

中国地区スポーツ推進委員研修会

日 時：6月22日（土）～23日（日）
場 所：岡山県津山市
参加人数：954名（うち当協議会5名）

基調講演では(財)日本ペップトーク普及協会の岩崎由純代表理事による「ペップトーク 言葉の力 無限大!」と題して話された。成功のイメージを持って「ポジティブな言葉かけ」をすることの重要性、事実の捉え方を別の表現に言い換える、してほしいことをそのまま伝えるなど日常的に使ってみたいと思った。

続いて奥出雲町の実践発表は、地域に溶け込みいきいきと活動されている事例が紹介された。

夜は、次年度開催の米子市と同テーブルでたくさんの情報が交換できた。

2日目は「ほおるんビンゴ」「ダ・ビンゴ」に参加した。ほおるんビンゴは推進委員手作りのビンゴネットと室内用ペタンクボールや玉入れの玉を投げて（岡山弁でほおって）ビンゴにするゲームである。帰ってすぐに斐川支部でもロープを購入して作成した。

2日間参加してとても充実した研修だった。自己研鑽のため多くの人に参加されると良いと思う。

記：吾郷明子委員（斐川支部）



支 部 活 動

■大社支部

事業名 大社小学校親子活動 いたっボール
日 時 ①令和元年6月16日（日）9：00～11：30
②令和元年7月6日（土）9：30～11：30
場 所 大社小学校 体育館
参加人数 ①68名（子ども33名 大人35名）
②86名（子ども42名 大人44名）

昨年大社小学校の親子活動で初めて「いたっボール」を実施したところ大好評を得てその口コミで今年は2学年から依頼を受けた。

2年生の子どもはうまくできるか心配していたが親子共々盛り上がり喜んでもらった。

記：糸賀伸明委員



《編集後記》

県の研修会に参加された皆様、お疲れ様でした。また、たくさんの方々から今後の活動に参考となるような貴重な意見や感想等をお寄せいただき、皆様の熱い思いが伝わってきました。これからの活動にぜひ活かしていきたいものです。ありがとうございました。（S・Y）

《出雲市スポーツ推進委員協議会事務局》

(NPO 法人 出雲スポーツ振興 21)
出雲市矢野町 999
(出雲健康公園健康センター内)
TEL 0853-25-1006 FAX 0853-25-0106

広報部：(部長) 久野晴見・糸賀伸明・清水康子・高橋詠・田中宏子・永瀬明・永田健二・藤原雅子